



編集 SEF 事務局
 連絡先 080-8865-0951
 U R L <http://sef-jpn.org>

巻頭のこぼ 「敬老の日」 **理事 小栗 貴史**

9 月 16 日は「敬老の日」でした。昨年まで長寿世界一だったイタリアのモラノお婆ちゃんが亡くなり、今の世界一は鹿児島県喜界島在住の田島ナビさん(117 歳・女性)とのことである。ところで総務省の統計では高齢者とは満 65 歳以上が対象とのことで、意識しているか否かに関わらず、改めて自分は高齢者なのだと自覚させられた。そこで、「敬老の日」に因んで総務省が纏めた、「高齢者に関する統計結果」を幾つか紹介すると、(1)総人口は 21 万人減だが、高齢者は 57 万人増。(2)高齢者人口割合は過去最高(27.7%)且つ世界最高。次いでイタリア、ドイツ、フランス。(3)90 歳以上人口が初めて 200 万人超。この状況下高齢者就業面では、(イ)高齢者就業者数は 13 年連続増加、770 万人で過去最多(ロ)就業者総数に占める高齢者割合は、11.9%と過去最高、且つ世界最高。高齢者人口中の就業率は 22.3%でこれも世界最高。次いでアメリカ、カナダ。(ハ)高齢雇用者の 4 人に 3 人は、非正規の職員・従業員(理由:自由な時間に働きたい)等々。この数字と世界での位置づけから、自分も含めた日本の高齢者をどう見るかは人それぞれだが、間違いなく健康第一、安全第一で自己管理して行かねばならないと思わされた次第である。(文中の数字等は総務省のホームページに解説があります)

9 月度 第 168 回理事会報告

《第 168 回理事会》	7.GS 部会・JJ 研事業活動支援費支払月変更の件
1.IOT 講座開催の件 →可決承認	→報告了承
2. 15 年史製本の件 →可決承認	8.NPO 推進ネット団体補償継続の件 →報告了承
3. H29 年 10 月会員交流会の件 →修正承認	9.H29 年度理事会経費支払の件 →報告了承
4. GS 部活動支援費予算超過の件→可決承認	10. SEF 内部運用規約類の件 →報告了承
5.総合ハイテック社活動協力費委託比率の件 →可決承認	11.日野システック社業務契約改定の件 →報告了承
6.総合ハイテック社業務契約更新の件 →可決承認	12.H29/8 会計収支報告の件 →報告了承
	13.検討課題 討議

事業報告 時事問題研究会 **担当理事 眞鍋 康雄**

時事問題研究会は一昨年「主要産業の次世代技術」をテーマに日本の産業の明日を支える技術について研究して来ましたが、昨年 12 月でこのテーマに一区切りをつけて、今後の新たな研究テーマとして技術関連に限らず経済問題や社会問題、世界情勢等に関するテーマを含めて、時機にあった研究テーマを都度選択して研究していくことにしています。テキストは新聞の連載特集記事を主体に、今年 1 月・2 月は「英国の EU 離脱について」、3 月は「問われる資本主義」、今期に入って 4 月～7 月は「トランプ大統領の影響」、9 月・10 月は「AI が及ぼす社会への影響」と題して研究を継続しています。大きな変化が起きている現在、研究会メンバー相互の意見交換、意見開陳はお互い大変有意義なものになっています。

SEF サロン 第 101 回報告 第 102 回案内 **担当理事 白崎善宏**

《 第 101 回 : 報告 》 9 月 27 日実施
 講師：鈴木 譲氏 株式会社 鈴木商館 顧問
 演題：「水素治療の現状とエネルギーとしての水素」
 水素水は健康によいと言われてはいますが、これは似非科学ではという意見もありますが、実際医学的にはどうであるかを名古屋大学等の臨床試験を通して検証した結果パーキンソン病等に一定の効果があることが報告されています。ただペットボトルの水素は封入しても保存できるものでなくただの水であることも話されました。まだ、これからの検証に期待することも多いのですが希望が持てそうです。水素燃料電池車は水素ステーションの普及が進まず難しい問題もありますが、今盛んな EV 車にも電池の材料資源等に問題はあります。水素燃料電池車の未来は国家間の思惑、利権争いもあり不確定なことが多いようです。水素関連の多岐にわたる有益なお話でした。

《 第 102 回 : 案内 》
 日時：2017 年 11 月 29 日(水) 18 時 場所：青学会館内アイビーホール 1F 「フェリア」
 演題：「IoT について (仮題)」 講師：入鹿山剛堂氏 入鹿山未来創造研究所長

8-9 月度会員動向

会員入退会	10 月 1 日 会員数
入退会無し	正会員・31 名、準会員・35 名、賛助会員・3 社